

本州太陽®シートのQ&A

Q1.表裏が分からない

Q2.シートの耐用年数は?

Q3.シートが破ける

Q4.シートのアルミ膜が剥げてしまった

Q5.寒冷地で本州太陽®シートを使いたい

Q6.シート被覆時のポイントは?

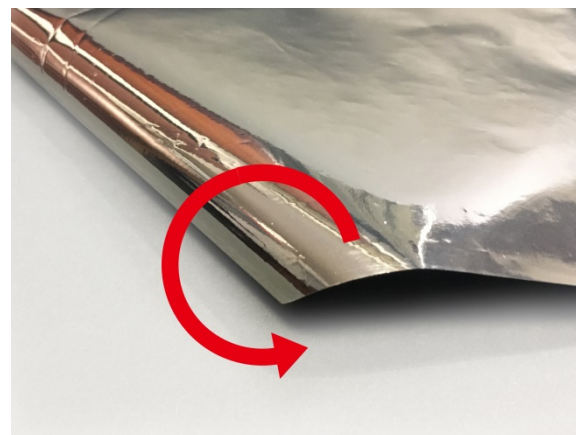
Q7.換気をしなくても大丈夫なの?

Q8.本州太陽®シートはどこで買えますか?

Q1.表裏が分からない

鏡のように反射するほうが表です。

新品であれば、使い始めの部分に表にシールが貼ってあります。
再使用であれば、裏側にシートの端がカールしますので、見分けるポイントにしてください。



Q2.シートの耐用年数は

推奨品質期間は1年間（1シーズン）です。

※再使用される場合は、シートに水滴や泥を残さないように乾かしてから、湿気の少ない暗所に保管してください。

表面に購入日を記載しておくこと交換時期の目安になります

Q3.シートが破ける

軽量化を追究した結果、耐久性で劣ってしまうことがございます。

お取り扱いには十分ご注意頂き、万一破れてしまった場合はOPPテープやハウス補修テープ等の透明なテープで補修してください。

Q4.シートのアルミ膜が剥げてしまった

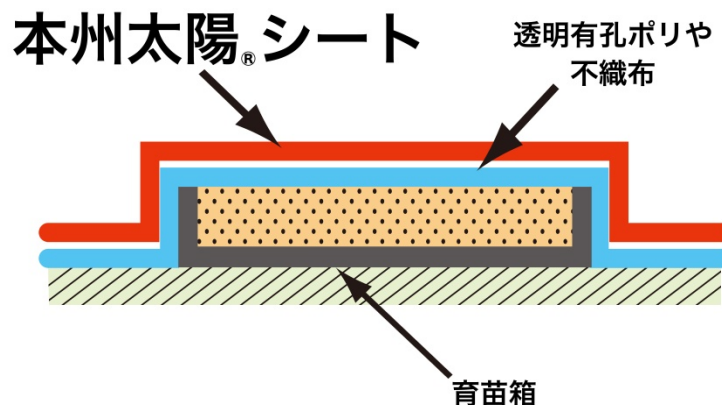
保管する際に乾かしが不十分なままだと、水分がフィルム内部に浸透し、その部分だけアルミ膜が透明になってしまうことがあります。

保存の際には水滴や泥を十分乾燥させてから保管してください。

Q5.寒冷地で本州太陽®シートを使いたい

本州太陽®シートは、冷たいものを温めることは苦手です。
そこで、いかに保温力を上げるかがポイントになります。

- ① 置床の地温を予め高めておく
シート被覆の数日前からハウスを密閉しておく
- ② 2重被覆にする
本州太陽®シートの下に透明有孔ポリや不織布を挟むことで、
夜間保温力を高める、寒地で実績のある方法です。



- ③ シートを一時的に開ける
育苗箱を強制的に温める方法ですが、蒸散と苗焼けに注意。

Q6.シート被覆時のポイントは？

- ・被覆前に置き床の温度を予め高めておくと、出芽が促進されます。
(寒冷地やハウス3月播種の場合)
- ・ハウスでご使用する場合、ハウス内通路まで被覆してください。
- ・タルキやパイプでシートの端を押さえて下さい。

Q7.換気をしなくても大丈夫なの？

本州太陽®シートは、高い遮熱性能で苗箱の温度を一定に保ち、ハウス内換気をしなくても苗焼けを防止する効果がありますが、以下の場合にはご注意ください。

- ① 5月播種（外気温が26℃以上の場合）
- ② 単棟ハウスが隣接している場合
- ③ 耐用年数を大幅に超えたシートをご使用される場合

Q8.本州太陽®シートはどこで買えますか？

お近くの地域JAにお問い合わせください。